

2018年度 [2018.7 ~ 2019.6]



ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区 4R1Z

合同会報

岡崎 岡崎南 幸田 岡崎葵 岡崎竜城 岡崎中央 額田 岡崎さくら



写真

4R1Z 現・次

合同会報編集委員長会議

6 月号



4R1Z 現・次合同会報編集委員長会議・四献合同委員長会議

日時 2019年6月3日(月)

場所 岡崎ニューグランドホテル



今年度のゾーンの会議は今回にて最終となります。この会議は次年度のゾーン・チェアパーソンや合同会報編集委員会、そして四献合同委員会への引継ぎとなります。

合同会報編集委員会では次年度もまたライオンズクラブの認知度を高める為に合同会報の継続を決めました。

この一年ゾーン・チェアパーソンL. 佐々木保明はライオンズクラブの知名度の改善を唱え活動してまいりました。その思いが次年度に引き継がれることを願っています。

この四献合同委員会では白血病や糖尿病など増える奉仕に内容についてどう有効な活動ができるか議論が交わされました。



ゾーン・チェアパーソン並びに各委員長より 2018年度の活動を終えて

メンバーは感動したのか



2018年度 334-A 地区 4R1Z
ゾーン・チェアパーソン
L.佐々木保明

ここ2、30年の間に日本ばかりでなく世界中がコンピューターを中心とする技術革新にとまなう急速な社会変動の波に飲み込まれている。

我々はその中で仕事や家庭を持ちながらも、多くの時間と金銭を費やして社会奉仕活動に励んでいる。

いったい何の為に？

確かに、ライオンズの社会奉仕活動の理念は恒久的に崇高な理念であることは間違いない。この不変性ある理念であるからこそ100年以上経った今でも世界中の人々からの賛同が絶えないのである。

しかし、我々の現実の生活をふり帰ってみれば、ライオンズの奉仕活動などやっている余裕など本当はあまりないのである。もっと会社に仕事に家庭に、この急激な社会変動に耐えしのいでゆく為の時間が欲しいはずである。



では、どうしてライオンズの奉仕活動をするのか？

私は人生の喜びの中でも特に大きな喜びであると思うのは、人から感謝の気持ちを受け取ることだ、と思う。

私は、ライオンズの奉仕活動の中でいつも、こうした場面に出会ったとき「ああ、奉仕活動やってよかった〜」と感動するのである。感動したアクティビティーをした時は費やした時間もお金ももったいない、と思わないのである。

前述の様にこの激動の社会に、何もはでな奉仕活動をする必要はない。身の丈に合った、しかし相手から感謝を受け、このことにより、自分が感動できる様な奉仕活動を続けていけば日本のライオンズクラブは亡くなることはないと思うのです。



2018年度 334-A 地区 4R1Z
四献合同委員長 L.長谷川智之

2018～2019 年度 四献合同委員長という役職を通じて、多くの事を学ぶ事が出来ました。

「献血」という昔から街角で見かける活動。以前はそれほど強い関心があったわけではありません。「血液は保存期間が短く不足している事」「血液を通じて自分の病が見つかる可能性がある事」など、色々と「知る」事によって見方・考え方が変わって行きます。

世の中は目まぐるしく変わりゆき、近い将来「再生医療」により、自分の細胞から自分の臓器を作り出す事が可能になると言われていますが、決して全てが補えるわけではありません。これからも、その時代に応じた活動を継続していくことが必要だと感じます。

ライオンズクラブに身を置き、自分の血液を献げる事は、長きに渡り継続出来る一番身近な「奉仕」なのかも知れません。



2018年度 334-A 地区 4R1Z
合同会報編集委員長 L.石川 剛

今年度はゾーン・チェアパーソンL.佐々木よりご指名を頂き合同会報編集委員長を務めさせていただきました。

委員長としては主に会議の仕事が多かったですが、普段のクラブ内の活動とは違い、外からライオンズクラブを見ることの出来る貴重な体験となりました。

また合同会報も全12ヶ月にわたり、1ゾーン8クラブの様々な活動を収めることが出来てとても有意義な冊子となった事が喜ばしくあります。

今回の機会を与えた下さった L.佐々木始め多くの方々のご協力に感謝し、一年の感想と致します。一年間お力を頂き誠に有難うございました。



岡崎南ライオンズクラブ

第 1324 回さよなら例会

日時 2019年6月20日(木)

場所 岡崎ニューグランドホテル



岡崎南ライオンズクラブの今年度最後の例会です。年度最後の例会はさよなら例会と銘打ちこの1年に別れを告げる意味を持ちます。

例会では今年度の会長 L.渡邊が1年の感想を語り、充実した年度であった事を感じ取っていました。

また、今年度のクラブ活動に貢献したメンバーを称えて、会長よりメンバーに賞が贈られました。

例会を終えて7月からの新年度です。また新たな意気込みで岡崎南ライオンズクラブは奉仕活動をしていきます。



2018年度会長 L.渡邊征勝



司会 L.石川 剛



会長から表彰を受けたメンバー

会長の職務を終えるご挨拶

2018年度会長 L.渡邊征勝

今年は55周年記念行事もあり、8クラブ合同のアクティビティもあり、ホットアンサンブルのふれあいコンサートもあり中々充実した年でありました。

台湾基隆仁愛ライオンズクラブ、八重山ライオンズクラブ、臼田ライオンズクラブ、京都桃山ライオンズクラブ、札幌スノーライオンズクラブ等々多くの友好クラブと地元ライオンズクラブと親しく交流出来ました。

特に基隆仁愛ライオンズクラブの会長交代式はとても華やかな式典で300名くらいのライオンズの前でそれぞれの役職の任命を行い、それに対する職務全うの宣誓を述べるシーンはとても感動しました。

そして台湾の名所めぐりでいろいろなところに案内していただき、とても素晴らしい接待を受け感激しました。

八重山のマングローブの植樹の時もゴルフとクルーザーの海釣りにつれて行ってもらい沖縄の海と景色を満喫することが出来ました。



岡崎南ライオンズクラブの仲間たちとこんなに充実した時を持てたことは私にとって一生のいい思い出になります。

又、多くの友達が出来て新たな交流の場が出来て楽しみです。

これからも丈夫で元気である限りこの活動を続けて行きますのでよろしくお願いします。



岡崎葵ライオンズクラブ

第 1184 回最終例会

日時 2019年6月28日(金)

場所 洋風懷石六本木



会長 L.倉橋敏美、会長として最後の挨拶

岡崎葵ライオンズクラブの2018年度最後の例会です。

会長挨拶では、会長の活動を支えてくれた幹事 L.小野田へ感謝の気持ちを伝え、岡崎葵ライオンズクラブの今年度の活動に対しては、チームワークが8クラブであり他クラブにも自慢できるものと賞賛していました。

また、1年のクラブの活動を陰で支えてくれた事務局員を労い、感謝の品を贈呈しました。



例会風景



司会の幹事 L.小野田晃治



事務局員に1年の感謝を



会長 L.倉橋・幹事 L.小野田のローア

例会の後半は懇親会となり、皆でこの1年を成しえた事を称えあい親睦を深めました。

懇親会最後でのローアは、1年を務め上げた会長 L.倉橋敏美、幹事 L.小野田晃治が行いました。ローアの挨拶で、L.小野田は L.倉橋に対し「会長にずっと守ってもらってた、こんなに守ってくれたのは親父以来、親父を思い出す1年」と賞して感極まっていました。

2人のローアは、会長幹事による熱い絆を象徴する素晴らしいものとなりました。



岡崎竜城ライオンズクラブ



第 1119 回最終例会

日時 2019年6月26日(水)

場所 洋風懷石六本木



岡崎竜城ライオンズクラブの1年を締めくくる例会です。

例会では、この1年クラブの為にがんばってくれた会員に対して会長 L.竹内桂子より賞が贈られました。

また、会長 L.竹内、幹事 L.安江よりこの1年の感想を語っていただき、次年度会長 L.太田直樹へバトンタッチがなされました。

